

みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

令和初めの青海魂、熱き青春ここにあり！



【←大玉、せーの！】

【意外に重い牧草→】

6月5日(水)、快晴に恵まれ心地よい風の中、体育祭が盛大に開催されました。

開会式では、青海会会長の窪田大地さん(3-5)が、スローガン「令和初めの青海魂～熱き青春ここにあり！～」をあらためて紹介すると、5軍団長が「青海魂で正々堂々と戦います」と選手宣誓。

競技では、不朽の名作「大玉送り」、来賓の方々や教職員も楽しく借り出された「借り物借り人」、本校らしく麻袋や牧草が登場した「農林レース」、「戦わずして勝つ」作戦の軍団もあった「騎馬戦」など、熱戦を展開。応援合戦では、時間をかけて作った衣装を身にまとい、全員が懸命なパフォーマンス。パネルでは、安全により配慮した中で、オリジナリティ豊かな作品が揃いました。

閉会式では、お互いの健闘を称え、体育委員長廣瀬遙さん(3-1)が「1・2年生と3年生が協力し合い、素晴らしい体育祭ができました」と締めくくり、体育祭を成功裏に終えました。

青海会役員、各軍のリーダーをはじめ、生徒の皆さんの健闘を称えます。頼もしい姿でした。

表彰団体

- ◎総合優勝:黄軍(3-4、2-1、1-2)
- 競技の部:優勝黄軍、2位紫軍、3位赤軍
- 応援の部:優勝赤軍、2位黒軍、3位黄軍
- 衣装の部:優勝赤軍、2位紫軍、3位黒軍
- パネルの部:優勝赤軍、2位黒軍、3位黄軍

おめでとうございます

農ク意見発表県大会、佐藤さん最優秀賞！



6月18日(火)、新発田農業高校で、農ク意見発表県大会が開催され、全県から7校20名、本校から3名が参加しました。

分野Ⅰ類(生産・流通・経営)の北澤美夏(1-3)さんは、最初の登壇ながら、落ち着いて発表。「農業の活性化のために今できること」と題し、農作業の機械化や新規就農者を増やす方を提案し、これからは農業に関心を高めていきたいと述べました。

分野Ⅱ類(開発・保全・創造)の森山萌瑛さん(3-1)は、「農は国の基なり…改め」と題し、自分たちで作ったBBQゲームでSDGsの大切さを発信している取組などを発表して、昨年に続き優秀賞を受賞。

分野Ⅲ類(ヒューマンサービス)の佐藤美咲さん(3-5)は、「ヒメサグリを活用した地域振興」と題し、準絶滅危惧種のヒメサグリを保護する地域の皆さんとのかかわりを紹介しながら将来の夢を語り、見事、最優秀賞を受賞しました。8月の北信越大会でも頑張ってください。3人の健闘を心から称えます。

家畜審査競技県大会、渡辺さん最優秀賞！



6月21日(金)、新潟県農業大学校で、農ク家畜審査競技県大会が開催されました。

生産技術科動物コース2・3年生11名が会場校業務にあたり、立派に責任を果たしました。

また、31名が選手として出場。肉用牛の部で、渡辺慧さん(3-4)が見事最優秀賞。乳用牛の部で、角田杏吹さん・星直樹さん(2-4)が優秀賞に輝きました。皆さんの直向きな努力を称えます。

熱気あふれる同窓会総会五泉大会！



6月8日(土)、五泉市ガーデンホテルマリエールで、同窓会総会が開催されました。会場の広さから320名で参加申込みをやむなく断ったとか。熱気あふれる同窓会総会となりました。

総会では、萬歳同窓会長、山田五泉支部長の挨拶、来賓の伊藤五泉市長様の祝辞、会務報告・決算、会務計画・予算の審議の後、長年同窓会に尽力された金谷前同窓会長、古藤前副会長、7人の前支部長の方々に感謝状贈呈が行われました。

続いて、インターハイ、北信越大会出場を決めた空手道部が、組み手の演舞や杉板割りを行い、大きな拍手と激励を受けていました。

懇親会では、在学中の思い出話や卒業後の同窓生との絆の深さ、母校への期待などの話題で大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごさせていただきました。同窓生の絆の強さを実感した一時でした。

担当の五泉支部の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

産業界や地域と連携した取組が本格化！

今年も産業界や地域と連携した取組が、スタートしました。詳しくは学校HPをご覧ください。



←緑地工学コース2年生が、新潟県農林公社と連携した林業就業支援講習を受けています。森の守り人を目指します。

果樹コース3年生が、新潟市中央青果市場で研修。普段入れないせり台を見学しました。→



←草花コース2・3年生が、道の駅庭園の郷保内とコラボして、「アートガーデン」(坪庭)を製作しました。大盛況です。

産業教育フェア新潟大会まで残り110日余！



本年10月26・27日(土日)、新潟市の朱鷺メッセなどを会場に行われる第29回全国産業教育フェア新潟大会(さんフェア新潟2019)まで、残り110日余となりました。

さんフェアは、農業高校をはじめとする専門高校、総合高校等の生徒の学習成果を発表する祭典。例年全国から約5万人の来場者が訪れる一大イベントです。

専用ホームページ(写真、<http://www.sanfair2019.nein.ed.jp/>)が開設され、各部の生徒の取組が紹介されるようになりました。

本校が主担当校となる環境整備部の業務も本格的にスタートしました。花による会場装飾、来場者の案内誘導、清掃などを多くの生徒が担当し、「おもてなし」の精神で全国の高校生をお迎えします。

知っていそうで意外と知らない専門学校！

6月10日(月)、新潟県専修学校各種学校協会と、県立高校長の連絡協議会が行われました。

専門学校制度の変更や、専門学校を取り巻く状況の変化など、知っていそうで意外と知らないことが多くありました。いくつか紹介します。



- ◎新潟県内の専門学校(正式には専修学校専門課程)は72校。入学者は6,338人で、大学入学者の6,076人より多い。
 - ◎新潟県の専門学校進学率は、全国1位。
 - ◎卒業生の県内就職率は、大学46.6%、短大85.7%、専門学校63.7%で、専門学校は大学より地元に残る学生の割合が高い。
 - ◎2年生以上の専門学校卒業生は専門士の称号が与えられ、大学(3年次)編入学の資格を持つ。4年制の専門学校卒業生は高度専門士の称号が与えられ、大学院入学の資格を持つ。
- ※数値は30年度調査による

大学・短大にも、専門学校にも、それぞれのメリットと課題があります。特色をよく理解し、学校を実際に見比べてしっかり進路選択してください。